

2024 年度（令和 6 年度）
小林市地域学校協働活動推進事業
（ K S S V C ）

実 践 記 録 集



キャリア教育交流会（5年生）

小林市教育委員会

こばやしスクールサポートボランティアセンター

はじめに

本市の地域学校協働活動は、平成23年度、全小・中学校にコーディネーターを配置して始まりました。平成25年度からは、各学校に学校運営協議会を設置して、コミュニティ・スクールの機能を生かした取組が行われています。このように、制度ができて10年以上経過していますが、いくつか課題もあります。その一つが教育の「総合化・ネットワーク化」です。

変化が激しく複雑化した現代社会は、今後の予測が立てづらいため、自己の経験や過去のモデルだけでは対応できないと言われています。そういう時代を切り拓くために役立つのは、意欲や忍耐力、計画性、創造性、コミュニケーション能力などです。学力検査では測れないこのような能力は、体験を積み重ねて視野を広げ、さまざまな価値観に触れることで身に付けることができます。

そのためにも、子どもたちの学びは、学校だけで完結するのではなく、保護者や地域住民、企業、団体などが、同じ目標の下で取り組む協働活動が欠かせません。新しい発想で生き生きと活動する大人の姿は、社会的・職業的な自立に向かう子どもたちに大きな影響を与えることでしょう。「こういう大人になりたい」という思いを子どもたちに抱かせる機会が増えてほしいと願っています。

また、それぞれの活動には「地域づくり」の視点も必要です。学校教育には「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という学習指導要領の目標があります。これを達成するためにも、地域コーディネーターの皆さんも参加している学校運営協議会を、子育てや地域づくりについて熟議し、具体的な行動に移す場にしていくことが望まれます。さらには、地域の一員としての小中学生の参画にも期待しているところです。

3年以上にわたったコロナ禍は教育活動に大きな影響を与えました。人々の交流は制限されましたが、行事の精選やICT機器の活用などの創意工夫も生まれたうえ、地域と学校の「絆」を見直すきっかけにもなりました。得られた教訓やノウハウは、今後の教育活動に大きな効果をもたらすものと信じています。

終わりに、本冊子の編集にあたり御協力いただきました関係各位に対して厚くお礼を申し上げるとともに、教職員や保護者のみならず、地域の皆様にも手に取っていただき、積極的に活用されることを心より願っています。

令和7年 3月

小林市教育委員会

教育長 大山 和彦

目 次

はじめに

1 実践報告

小 林 小		P 1
南 小		P 2
細 野 小		P 3
西小林小		P 4
東 方 小		P 5
永久津小		P 6
三 松 小		P 7
幸ヶ丘小		P 8
須 木 小		P 9
野 尻 小		P10
栗 須 小		P11
紙 屋 小		P12
小 林 中		P13
細 野 中		P14
西小林中		P15
永久津中		P16
東 方 中		P17
三 松 中		P18
須 木 中		P19
野 尻 中		P20
紙 屋 中		P21

2 資 料

小林市の地域学校協働活動	
～ 成果・課題・今後の方向性など ～	P22
KSSVC事務局取材等一覧	P24
学校別学校支援ボランティア活動実績	P28

編集後記

【 小林小学校 】

1 実施状況

○ 読み聞かせ（通年）	○ 兵児踊の指導（7月～9月）
○ 福祉講話（10月）	○ 図書館見学（11月）
○ 福祉体験活動（11月、12月）	○ 手話体験（12月）
○ シン・小林小まつり（12月）	○ 小林応援団（1月）
ボランティア登録者数(50)人 年間参加者実数(2500)人 見込も含む	【連携・協働している機関】 ○小林小校区まちづくり協議会

2 特色ある取組の紹介

1 活動名 「シン・小林小まつり」

「自立」・「感謝」・「貢献」をテーマに、生活科・総合的な学習の時間で「物作り体験（1・2年生対象）」「チーズ作り体験（3年生対象）」「ミニたたみ作り（3年生対象）」「木工教室（4年生対象）」「リース作り体験（4年生対象）」「グラウンドゴルフ（3・4年生対象）」「茶道体験（3・4年生対象）」「ミニテニス（3・4年生対象）」「読み聞かせ（3・4年生対象）」「演劇体験（3・4年生対象）」「ごみSP0&こぼやしSALK0（5年生対象）」「防災教室（6年生対象）」を行った。講師・地域の方・まちづくり協議会の方々とのふれあいを通して、自分でできることや教えてもらったことへの感謝の気持ちを持ち、学習活動に取り組む姿が見られた。



防災教室で段ボールベツを作る



ごみSP0で集めたゴミを分別する



茶道の体験

【参加児童の声の】

- ゴミSP0は、街もきれいになったし、私たちの心もすっきりしました。これからも、この小林市をきれいに、大切にしていきたいです。（5年児童）
- 茶道のことがいっぱい分かってうれしかったです。茶道のことをもっと勉強して詳しく知りたくなりました。（4年児童）

3 取組の成果と課題（○:成果 ●:課題）

- まちづくり協議会やPTA役員の協力を得て「シン・小林小まつり」を開催した。子どもたちや教師、保護者、講師や地域の方にとって楽しく、有意義な活動となった。
- 外部講師との事前の打ち合わせや材料や場所の準備など大変なこともあった。「シンプルで」「無理なく」「継続」できるように、組織や計画を見直すことが課題である。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- ・ まちづくり協議会・PTA役員との打ち合わせを綿密にし、効果的な運営、計画、活動にしていく。
- ・ 外部講師に負担のないよう、いつ打ち合わせをするかなど計画を立てる。

Ⅰ 実施状況

☐ 読み聞かせ(通年) ☐ 茶道クラブ(通年) ☐ 史跡めぐり6年(5月) ☐ まちたんけん2年(6月・12月) ☐ 水源地見学4年(7月) ☐ 市立図書館見学2年(9月) ☐ 出前授業(トヨタ)5年(10月) ☐ 消防署見学3年(10月) ☐ 保育所見学・体験学習5年(11月) ☐ 福祉体験4年(12月) ☐ 手話学習3年(1月)	☐ 朝の見守り活動(通年) ☐ 学習支援ボランティア(通年) ☐ 出の山見学3年(6月) ☐ 清掃工場見学4年(6月) ☐ スーパー見学3年(9月) ☐ 南小祭り全学年(9月) ☐ モーモースクール4年(10月) ☐ 警察署見学3年(11月) ☐ 認知症サポーター養成講座4年(12月) ☐ 租税教室6年(12月) ☐ 薬物乱用防止教室6年(2月)
ボランティア登録者数(25)人 年間参加者実数(100)人 見込も含む	【連携・協働している機関】 ☐ 南小校区まちづくり協議会 ☐ 読み聞かせサークル「たんぽぽ」 ☐ 南校区社会福祉協議会

2 特色ある取組の紹介

- 活動名 南小まつり
- 実施日 令和6年 9月20日(金)
- 活動紹介

講師の先生を招いて、各学年、以下のような体験活動を行いました。

1年生	昔の遊び	4年生	盆景、味噌づくり、竹細工
2年生	エコバッグ作り	5年生	県技能士連合会 「ものづくり体験教室」
3年生	お茶体験、しおり作り	6年生	



4 参加者の声

地域の方々にたくさん協力いただくことで児童の貴重な体験を提供できている。大変有意義な活動となった。(職員の感想)

3 取組の成果と課題 (○：成果 ●：課題)

- これまで同様、ボランティアや地域の方の協力が、学習や体験活動の充実につながっており、大変ありがたい。
- ボランティアや地域の方は、学校ともっと関わりたいという願いがある。その願いと教職員の働き方改革をどのようににつなげていくのかが課題である。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

学校と地域が互いのニーズをもとに連携できるよう学校運営協議会や学校運営企画会等を計画的な打合せの場にしていきたい。

【 細野小学校 】

1 実施状況

- 保護者・ママーズによる読み聞かせ(通年) ○ 登下校の見守り(通年) ○ 交通安全教室(5月)
- 奉仕作業(6月) ○ 田植え(6月) ○ 灯ろうづくり(6月) ○ 図書館見学(9月)
- そばの種まき(9月) ○ 手話教室(10月) ○ 史跡巡り(10月) ○ 稲刈り(11月)
- 国際交流学習(11月) ○ 消防署見学(11月) ○ 非行防止教室(12月) ○ 鑑賞教室(12月)
- 携帯スマホ安全教室(12月) ○ そば収穫(11月) ○ いのちの授業(12月) ○ もちつき(1月)

ボランティア登録者数(25)人

年間参加者実数(374)人 見込も含む

【連携・協働している機関】

- 細野まちづくり協議会 ○ JA青年部
- 読み聞かせサークル「ママーズ」

2 特色ある取組の紹介

○ 米作り

例年、細野小学校では5年生児童が米作り体験を行っており、今年度もJA青年部や細野まちづくり協議会の方々にご協力をいただき、田植え、稲刈り、もちつきを行った。



【参加者の声】「初めて田植えから稲刈りまでして大変さがわかりました。おじいちゃんの友達がお米を作っているの、いつかお手伝いをしたいです。」

収穫したもち米は、参観日に販売を行うとともに、そのもち米を使って、もちつきを行った。昨年度の反省を踏まえ、まちづくり協議会と事前の打合せを丁寧に行い、学校が主体となって進めた。保護者の協力も得ながら、もちをつく体験と丸める体験をスムーズに実施することができた。次年度も同様にできるように引継ぎを確実に行いたい。

3 取組の成果と課題 (○:成果 ●:課題)

- 田植えや稲刈りの体験等、米作りに関する一連の活動を通して、作物を作る大変さや、育てることの難しさ、そして収穫の喜びなどを味わうことができた。
- 地域の方が体験活動だけでなく、機械の説明や農家の方の苦労など具体的に話をしてくださるので、社会科の学習の充実につながっている。
- 田植えや稲刈りについては、社会科の学習と関連させて事前に質問を考えさせるなど、さらに学習が深まるような手立てを講じたい。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- ・ 総合的な学習と教科の関連について再度見直しを行い、意図的・計画的に学習を進めることができるようにする。

1 実施状況

○登下校安全指導(通年) ○読み聞かせ(通年) ○太鼓クラブ(通年) ○茶飲ん場・放課後子ども教室(通年) ○4年清掃工場見学(6月) ○5年畦づくり(6月) ○5年田植え(6月) ○6年市庁舎・議会見学(6月) ○3・4年手話講座(7月) ○3年グンゼ工場見学(7月) ○全学年慰霊集会(7月) ○2年市立図書館見学(9月) ○5年稲刈り、脱穀(10月) ○4年福祉交流(10・11月) ○3年消防署見学(11月) ○3年史跡巡り(12月)

ボランティア登録者数(※登録なし)
年間参加者実数(110)人

【連携・協働している機関】
にっこばまちづくり協議会

2 特色ある取組の紹介

① 米作り

校区にある農家の松元様、JA青年部の皆様に協力をいただきながら、5年生が今年度で本校34年目となる米作りに取り組んだ。昨年度は5・6年生合同で実施したが、5年生の取組へ整理したことで、児童一人一人の体験がより深いものとなった。今年度は、にっこばまちづくり協議会の協力をいただきながら、収穫した米で餅を作って食べるころまでを体験することができた。(児童の声「次も稲刈りをしたいです。お米一粒を大切にしたいです。」)



② 読み聞かせ

今年度も地域の読み聞かせボランティア「ゆめいろ文庫」の皆様による読み聞かせを実施している。本校の卒業生となる西小林中学生による読み聞かせは6年目となった。今年度は市の広報の取材が入り、市の広報誌に本校での取組が特集で掲載された。本校卒業生である中学生からの読み聞かせは、児童は憧れをもつと同時にお話の世界に引き込まれていた。(児童の声「読み聞かせ楽しいです。」)



③ 鎌之手踊りの継承

本校校区に伝わる「鎌之手踊り」を、今年度より3年生の総合的な学習の時間に位置付けた。保存会会長の東様をはじめ、保存会の皆様のご指導を仰ぎながら、創立150周年記念式典では踊りを披露することができた。北西3区の皆様より、踊りに必要な「鎌20本、薙刀20本、鉢巻40本、たすき2色各40本」を寄贈していただいた。(児童の声「難しかったけど踊れるようになってうれしいです。」)



3 取組の成果と課題 (○：成果 ●：課題)

- 今年度は、地域にゆかりのある一流の方々(文化・芸能)に直接触れる機会を積極的に設定したり、家庭教育学級と連携して、親子で学びのある取組を意図的に計画したりした。その結果、児童の意欲向上を図るとともに、ふるさと・地域のよさを再確認することができた。
- 教科学習やキャリア教育を目的とした学習活動等に、地域ボランティアを積極的に生かせるよう、教育課程を地域との関わりの中で見直して整理を進め、学習内容を工夫していきたい。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- 地域ボランティアの核となるにっこばまちづくり協議会との連携をさらに深め、地域に誇りをもつ児童の育成を図るための教育活動について工夫していく。

1 実施状況

○よんみろ会による読み聞かせ（通年） ○登下校指導（通年） ○清掃工場見学（6月）
○河川清掃と稚魚放流・魚つかみ取り（7月） ○水源地見学（7月） ○C00P見学（9月）
○陰陽石祭り（9月） ○租税教室（12月） ○人権教室（12月） ○地域高齢者への年賀状（12月）
○町探検（12月） ○給食感謝集会・給食食材提供地元企業（12月） ○高齢者福祉体験（1月）
○トヨタカラー宮崎協働授業（1月） ○オオヨドカワゴロモ保全活動（1月）等

ボランティア登録者数(27)人
年間参加者実数(165)人 見込も含む

【連携・協働している機関】

小林市社会教育課、小林市社会福祉協議会、東方校区民生委員、東方まちづくり協議会、小林市人権擁護委員会、県総合博物館、小林・高原・野尻漁業協同組合など

2 特色ある取組の紹介

1 河川清掃活動、稚魚放流・魚のつかみ取り大会

○ 活動内容

本年度も、小林・高原・野尻漁業協同組合とPTA役員を中心に、全家庭に呼びかけ、学校近隣の岩瀬川の河川清掃活動、ウナギの稚魚放流、学校プールにて魚のつかみ取り大会を行った。東方地区の自然の豊かさに触れるとともに、この自然環境を守っていかうとする子どもたちの意識を高める活動となった。



河川清掃



ウナギの稚魚放流



魚のつかみ取り大会

○ 参加者の声

- ・ 思ったよりゴミが多くて残念だった。まずは自分からゴミを出さないようにしたい。
- ・ 東方の豊かな自然に気付いた。この環境をみんなで守っていきたい。

2 天然記念物オオヨドカワゴロモの保全活動

○ 活動内容

本校はSDGsを推進しており、毎年4年生が宮崎県総合博物館から講師を招いて、小林市の貴重な自然環境の話を聞いたり、実際に現地に出かけ保全活動を行ったりしている。身近に貴重な自然があることに気づき、環境を保全していかうとする意識の高揚につながった。



○ 参加者の声

- ・ 身近な川に天然記念物が自生していることに驚いた。とても貴重な物なので、未来まで守ってきたい。

3 取組の成果と課題（○:成果 ●:課題）

- 身近な自然環境や文化財を通して、地域への理解を深め、誇りをもたせることができた。専門家やボランティア等の協力で、充実した体験や実践的な学びができた。
- 地域素材や人材は豊富であるが、それらを学校と結ぶ地域コーディネーターの人選が難しい。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- キャリア教育の視点をふまえて、地域の人材、素材を活用していくことはもとより、学校と地域をスムーズに結びつけるコーディネーターの人材発掘を行っていく。

【永久津小学校】

1 実施状況

○読み聞かせ(通年) ○めしげ踊り指導(5月) ○登下校の見守り(通年) ○放課後子ども教室(通年) ○生活科支援(1、2年:芋作り) ○PTAによる奉仕活動(5月、11月)
○稲作体験(6月～11月 5年生) ○蕎麦プロジェクト(9月～12月 6年生)
○外部講師による学習補助(2年～芋植えと芋掘り) ○門松づくり(保護者)

ボランティア登録者数(24)人

年間参加者実数(435)人

【連携・協働している機関】

永久津いきいき協議会 JAこばやし営農組合

2 特色ある取組の紹介

(1) 小・中合同運動会「めしげ踊り」

めしげ踊り保存会の方々の指導の下、永久津小4・5・6年生が岡原地区に伝わる「めしげ踊り」を披露した。



【めしげ踊りの様子】

(2) 「いも植え」「いも掘り」

1・2年生が、生活科の学習の一環として、地域コーディネーターによる指導のもと「さつま芋栽培」を実施した。

(3) 「地産地消を目指した蕎麦プロジェクト活動」

永久津中1年生、永久津保育園児とともに6年生が、JAこばやし等地域住民による準備や指導のもと「そばの種まき」を行い、収穫したそば粉を使って「そば打ち体験」を行った。児童は、地域の特性を生かした永久津ならではの食の体験ができた。

(4) 読み聞かせ

月1回程度、朝の時間に読み聞かせボランティアの方々による読み聞かせを行っている。

※職員の感想

地域の方々の協力が貴重な学習支援となっており、感謝している。今後も継続できるとよい。

3 取組の成果と課題 (○:成果 ●:課題)

- 各活動が児童にとって地域との関わりをより深く実感できる機会となっている。
- 実施にあたり、担任は協力者と打合せの時間が十分に取れないため、教頭が協力者と事前打合せを密にするなど効率的に進められるよう工夫する必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- 地域行事にも積極的に参加し、地域の方々とのよりよい関係性を保っておく。

【 三松小学校 】

1 実施状況 ◎ 今年初めて実施した活動

○ 登校時の見守り隊(通年)	○ 5年総合「米作り」準備・補助(6・10月)
○ 図書室支援(通年)	○ 七夕飾り用竹確保(7月)
○ 水曜日の読み聞かせ(通年)	○ 非行防止教室(10、1月)
○ 交通安全教室(5月)	○ 6年社会科「租税教室」(12月)
○ 運動会準備(5月)	○ 3・5年「手話教室」(12月・1月)
○ リサイクル品収集・美化作業(6・10・2月)	○ もちつき・門松・イルミネーション作り(12月)
○ あいさつ・安全運動(4・7・10・2月)	○ クリスマス読み聞かせ(12月)
○ 4年総合「岩戸神楽学習」(6月)	○ 3年総合「福祉体験活動」講師(1月)
○ 6年社会科「小林市の史跡」の講師(7月)	◎ 不審者対応訓練(7月)

ボランティア登録者数(1)人	【連携・協働している機関】
年間参加者実数(253)人 見込も含む	○ 小林市役所 ○ 小林市社会福祉協議会
	○ 小林市商工観光課 ○ 小林市交通安全協会
	○ 小林市教育委員会社会教育課 ○ 小林中央消防署

2 特色ある取組の紹介

1 史跡めぐり

○ 活動内容

7月3日、6年生はこすもす科の学習で、三松小校区内に残る史跡について、小林市ガイドボランティアの方々に来ていただき、実際に5つの史跡をまわりながら、話を聞くことができた。子どもたちは地域の先人たちの努力や「三松魂」の由来を知ることができた。



○ 参加者の声

三松の歴史をたくさん知ることができた。「三松魂」という言葉の由来は、みんなと協力して苦しさに耐えたということを知り、自分もチャレンジ精神を忘れず、みんなと協力して行動したいと思った。

2 不審者対応訓練

○ 活動内容

7月5日、県警本部や小林署、校区内のコンビニエンスストアと合同で不審者対応訓練を実施した。前半は1～3年生が警察の方から防犯についての講話を聞き、後半は、3年生に実際に声かけ事案にあったときの「子ども110番・おたすけハウス」への駆け込み訓練を行った。



○ 参加者の声

声をかけられたときは怖かった。逃げないと危ないと思って、必死で逃げた。コンビニエンスストアの人に不審者のどんなことを伝えればよいか分かった。助けを求める方法が分かってよかった。

3 取組の成果と課題 (○:成果 ●:課題)

- 学校行事に協力的な保護者や地域の方が多く、学習活動でも積極的に外部講師と連携した取組が行われ、地域に開かれた学校づくりの推進が図られた。
- KSSVCや外部講師と学級担任の連携が図られており、ねらいに沿った活動が展開できた。
- これまでの取組に加え、効果的な新たな取組について検討していく必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- 今後も、学校便り・ホームページによる発信や、「てなむ」通信や取組の様子を校内に掲示するなどして広く紹介し、他校の活動を参考にしたり、本校ならではの活動に生かしたりしていきたい。
- 総合的な学習の時間やこすもす科のねらいに沿った効果的な活動を、今後も職員間で引継ぎしたり検討したりして、実施していきたい。

【幸ヶ丘小学校】

1 実施状況

・登校時の見守り活動(通年)・読み聞かせ(通年)・子ども農園の整備等(通年)・太鼓指導(通年)・放課後子ども教室(通年)・交通安全教室(4月)・PTA スポーツ大会(5月)・社会科見学(6月清掃工場・7月浄水場)・魚のつかみ取り大会(7月)・水泳指導(6・7月)・中学生による読み聞かせ(オンライン 7・10月)・木工教室(8月)・人権教育研修(8月)・PTA 奉仕活動(8月 PTA 役員)・幸っ子フェスタ(10月)・鑑賞教室・太鼓フェスティバル参加・生駒の杜訪問(11月)・かおる幼稚園との交流、職場体験(12月)・給食感謝集会(1月)・中学生・カラフルメロディによる吹奏楽演奏(1月)・5,6年薬物乱用防止教室・給食センター見学(2月)

ボランティア登録者数(約30)人
年間参加者実数(約350)人

【連携・協働している機関】 ○「協働の学校づくり」推進協議会
○ 幸ヶ丘放課後子ども教室 ○ にっこばまちづくり協議会

2 特色ある取組の紹介

1 幸ヶ丘太鼓の指導

○ 活動内容

本校職員の指導に加え、『(株)太鼓屋太鼓研修センター「響」』より外部講師を招き、幸ヶ丘太鼓の継承と技の向上を図っている。本年度は、西諸音楽大会、小林・高原安心安全まちづくり大会、県太鼓フェスティバルに参加し、運動会、学習発表会でも披露している。大きな舞台上で演奏することで、全員が自信をもち、普段の学校生活の中で活かされている。



【外部指導者による指導の様子】

2 幸っ子フェスタ

○ 活動内容

10月に世代間交流をねらいとして「幸っ子フェスタ」を行った。本年度は、校区内に在住の大岩根さんを講師として、ミニ畳製作を行い、保護者と児童と一緒に製作を行った。また、終了後、児童・保護者や地域の方・議員さんも参加して、「生駒・幸ヶ丘の未来のために、自分たちは何ができるか」というテーマで話し合いを行い、意見を交わし、みんなで熱い熟議を行うことができた。



【ミニ畳製作の様子】

○ 参加者の声

たくさんの人たちが集まって、生駒・幸ヶ丘のことを考えることはとてもよいことだと感じた。これからもこの地域を大切にしながら、もっと活性化できるようにいろいろなことを考えていきたい。



【話し合いの様子】

3 取組の成果と課題 (○:成果 ●:課題)

- 保護者と地域の方と児童・先生と一緒に活動する機会を多く設定することで、地域とのつながりがより深くなっていることを実感している。また今回、生駒・幸ヶ丘の未来について考える機会を設けたことで、少しでも自分たちの住んでいる地域を愛し、守っていこうとする思いや感情が少しずつ芽生えてきたように感じた。これからもこのようなみんなで話す機会を増やし、地域とともに活動する幸ヶ丘小にしていきたい。
- 子どもたちの思いをこれからの活動にどうつなぐか、地域の人たちと一緒にできることは何かを考えながら、日々の活動を考え、展開していかなくてはならないと感じた。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- どのような状況や変化にも対応できるように、関係機関との連携を密にしながら、現在行われている活動が、地域や学校、児童にとって本当に必要な活動なのかを考え、精選していきたい。
- 今後も地域に愛され地域に根ざした学校として、学校と地域、双方の思いを汲み取り、みんなが楽しみながら学べる活動を目指したい。

【 須木小学校 】

1 実施状況 ◎ 今年度初めて実施した活動

- 交通立ち番指導（通年） ○ 読み聞かせ（通年） ○ 交通教室（5月）
- 4年生浄水場見学（6月） ◎ オオムラサキ授業（6月） ◎ 田植え（6月）
- ◎ いろどりの里体験活動（7月） ○ 手話講座（9月） ◎ 水辺の調査（9月）
- 商工会の方との除草作業（10月） ○ ほぜ祭り用の縄綱い体験（10月）
- 4年生用水路見学（11月） ◎ 稲刈り（11月） ○ うなぎの放流体験（11月）
- 租税教室（12月） ○ ボッチャ・卓球バレー体験活動（11月） ◎ 餅つき（12月）
- 火災の避難訓練（12月）

ボランティア登録者数(25)人

年間参加者実数(135)人 見込も含む

【連携・協働している機関】

小林市役所須木庁舎、すきむらづくり協議会
社会福祉協議会須木支所

2 特色ある取組の紹介

1 田植え、稲刈り体験(6、11月)

- 地域の方から「子ども達との交流の機会が無い。」という要望を受け、以前行っていた田植え、稲刈りの活動を実施することにした。地域の方のご協力をいただき5、6年生が、5月に田植え、11月に稲刈りを行った。12月には、収穫したもち米で、餅つきを行い、全校児童に振舞った。



【児童の感想】初めて田んぼに入ってみて、足の感触が気持ちよかったし、田植えは、よごれて大変だったけど楽しかった。

2 いろどりの里体験学習(7月)

- 夏木地区にある「いろどりの里」へ出かけ、川遊びなど、須木の自然にふれる活動に取り組んだ。いろどりの里を整備された地域の方の話を聞くことで、須木の自然の素晴らしさを実感する機会となった。



【児童の感想】川に入って泳ぐのが楽しかった。須木のよさを伝えるために、いろどりの里を作ったことが、すごいと思った。

3 取組の成果と課題（○:成果 ●:課題）

- 今年度、新たに「いろどりの里」での自然体験活動や「オオムラサキ」に関する学習など、須木のよさを知る学習の機会を設定できた。
- 地域の方の要望もあり、コロナ前に取り組んでいた「田植え、稲刈り」の体験活動を再び実施することができ、子どもたちにも好評であった。
- 地域と子どもたちのふれあいの機会を目的として、「田植え、稲刈り」の体験活動を実施したが、実際に一緒に活動した地域の方は、ほとんどいなかった。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- 今年度の田植え、稲刈りの活動は、学校側が主体となって取り組んできたが、今後、地域の方と協議し、地域が主体となった活動へ移行することで、たくさんの地域の方と子どもたちがふれあいながら活動できるようにしていきたい。

1 実施状況

○読み聞かせ（通年） ○地域の歴史学習支援（４年１１月） ○登下校安全指導（通年） ○芋植え・芋掘り支援（６月・１０月） ○国際理解教育支援（３・４年授業支援）	○伝統芸能指導【棒踊り】（６～９月） ○田植え・稲刈り支援（６月・１０月） ○学習支援＜プリントの丸付け・印刷他＞（通年） ○収穫祭（１１月） ○手話学習（３・５年授業支援）
支援ボランティア登録者数（４５人） 年間参加者実数（約４００人）	【連携・協働している機関】 JA こばやし・営農組合・見守り隊・棒踊り保存会・読み聞かせ「たんぽぽ」・国際交流支援の会

2 特色ある取組の紹介

○ 「六月灯」祭り

野尻小校区では「六月灯」祭りが毎年７月に開催（東麓六月灯実行委員会主催）されている。５年生は、この「六月灯」祭りに向けて地域の外部講師に來校していただき「六月灯」の歴史学習を行っており、地域の伝統的な祭りについての理解を深めている。また、全校児童が「六月灯」祭りで飾られる「灯籠作りに」取り組んでおり、学校と地域が一体となった祭りとなっている。祭り当日は、校区に限らず多くの来場者があり、毎年大きな盛り上がりを見せている。



○ 収穫祭

野尻小では農業体験活動として、サツマイモの栽培ともち米の栽培に取り組んでいる。農業体験活動では東麓地区営農組合が中心となり、苗の植え方や収穫の方法を指導していただくと共に、田畑の管理等も行っている。この活動は１１年以上にもなり今では野尻小の特色のある活動の一つとなっている。また、例年１１月に行われる「収穫祭」で、自分たちの育てたもち米を使って餅つきを行うと共に、協力いただいた方々への感謝の気持ちを伝える「収穫祭」を実施している。本年度は久しぶりに、自分たちで育てた餅米でついた餅をその場で食べる喜びを感じることができた。農業体験は、他にも近隣のこども園と、共に活動を行っており、幼保小連携の面からも充実した活動が行われている。



3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 本年度も大変多くの地域の方々に協力いただき、充実した教育活動を行うことができた。今後も学校と地域人材との繋がりを大切にしていきたい。
- より教育効果を高めていくためにも、関係機関と事前に十分な打合せ等を行っていくと共に、工夫・改善を行っていくためのサイクルを構築していく必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- 例年、年度初めに連携・協働している機関との打合せを行っているが、それぞれの機関が一堂に会する機会を設定することで、今後は横の繋がりを強化していきたい。

【栗須小学校】

1 実施状況

- 読み聞かせ（毎月1回、朝の活動の時間に実施）
- 学習支援ボランティアによる担任業務支援等（通年）
- 通学時におけるあいさつ運動（地区別とPTA専門部会を交互に、毎月実施）
- PTA奉仕作業および環境整備部美化活動（年間5回実施）
- 学校田での稲作活動の支援（PTA事業部が中心、6月田植え、10月稲刈り）
- 梅ちぎり（5月）
- プール清掃における消防団の協力（6月）
- みかんやまスマイルフェスタにおける防災活動の支援（スマイル会議・地婦連から11月）

支援ボランティア登録者数（6人）
年間参加者実数（約400人）

【連携・協働している機関】

読み聞かせ「たんぽぽ」・みかんやまスマイル会議・JA・営農組合・野尻原環境保全会

2 特色ある取組の紹介

○ 梅ちぎり

学校下にある梅林で、1年生が毎年5月に地域の方々と梅ちぎりを行っている。ちぎった梅は農産加工センターの協力を得て、梅干に加工した後、家庭に持ち帰っている。
（児童感想：むずかしかったけど、なれてきたらどどんうめがとれたのしかった。）



○ 栗須っ子米（米栽培と収穫）

学校近くにある学校田で、毎年「栗須っ子米」を育てる活動を行っている。一昨年より5年生が種から苗を育てている。地域の様々な方に見守られながら田植えから収穫まで行う「栗須っ子米」作りの活動は、栗須小ならではの体験活動の一つとなっている。（児童感想：収かくしたお米でもちつきをして、早く食べてみたい。）



○ みかんやまスマイルフェスタ

毎年11月下旬、栗須っ子米の収穫祭と地域の防災活動を融合させた「みかんやまスマイルフェスタ」を開催している。午前中は、もちつき体験や炊き出し訓練として婦人会より芋煮の振る舞いが行われ、午後からは防災訓練として、能登地震に関するボランティア体験談の講話を聴いたり、屋外で簡易トイレ作り体験を行った。もしもに備えて学校と地域が一体となって貴重な体験活動にすることができた。



3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 例年、学校で行われる様々な活動に地域住民や関係機関にご協力いただいている。子どもたちや学校のためにと惜しみなく力を尽くしてくださっている皆様に、子どもたちが元気に活動する姿を見せることにより喜んでいただいている。
- 気候変動や働き方改革など、時代とともに変化している状況を保護者や地域の方々にも理解していただきながら、それぞれの行事の意義や目的についても一度見直し、学校と保護者、地域の三者の意向をバランスよく取り入れながら進めていく必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- ボランティア会議等の定期的な協議の場を設けたり、地域の会合等に積極的に参加したりしながら情報交換を行うとともに、子どもたちのために何ができるかを共に考え、活動していく連携・協働の仕組みを整えていく必要がある。

【 紙屋小学校 】

1 実施状況

- 読み聞かせ（通年） ○ 登下校の見守り（通年） ○ 文化伝承活動「城攻め踊り」（通年）
- 環境整備活動（通年、一斉は年2回） ○ 運動会支援（9月）
- 学習支援：生活科「七夕飾りづくり」（7月）、家庭科「ミシン」（10月）、「昔の遊び」（2月）
- 体験活動支援「もち米づくり」（5月：田植え、10月：稲刈り、通年：除草等）
「イモの栽培」（5月：イモの苗植え、10月：イモ掘り、通年：除草等）
「もちつき」（2月）

ボランティア登録者数（20）人
年間参加者実数（290）人

【連携・協働している機関】

地域コーディネーター JA野尻 校区社協
城攻め踊り保存会 今別府いきいきサロン

2 特色ある取組の紹介

(1) 体験活動「田植え、稲刈り」

小中合同で5月に田植え、10月に稲刈りを実施している。
小学校では収穫したもち米を使って卒業祝いの紅白餅を作り、中学校では餅つき大会を行っている。地域コーディネーターを中心に多くの保護者の協力をいただきながら長年続いている体験活動である。

【児童の感想】自分たちが植えた苗からお米が収穫できるのは本当にうれしい。



(2) 学習支援「七夕飾りづくり」

事前に、今別府いきいきサロンの方々が手の込んだ見事な飾りをたくさん作ってくださり、本番は、1・2年生の児童が笹の葉にたくさんの飾りを結び付けた。この活動は、15年以上続いている紙屋ならではの行事になっている。

【サロンの方のお話】みんなで集まって、子ども達のために飾りを作っている時間は、私たち自身も楽しんでいます。



(3) 伝統文化継承「城攻め踊り」

本校校区に伝わる「城攻め踊り」を、4年生から6年生の児童が城攻め踊り保存会の方々からご指導いただいている。運動会や地域の祭り「ほぜ祭り」で披露している。

【保護者のお話】私たちも子どもの頃に踊った踊りが今も引き継がれていて感慨深いものがあります。



3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 多くの教育活動が保護者や地域の方々に支えられ、充実したものになっている。紙屋ならではの伝統文化も継承されているので、絶やすことが無いよう引き継いでいきたい。
- 学習支援ボランティアの固定化、高齢化が進んでいるため新規の発掘に努めたい。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

小学校PTAから卒業する保護者もいるので、在籍しているうちに学習支援ボランティアに登録してもらおう。また、地域へも呼びかけを行っていく。

1 実施状況

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ○ 交通教室（４月） | ○ 薬物乱用防止教室（６月） |
| ○ 手話講座（６月） | ○ 「いのちの教育」平和学習（７月） |
| ○ 救急救命講習会（８月） | ○ 農業体験学習（９月） |
| ○ 鑑賞教室（１１月） | ○ 避難訓練（５月・１１月） |
| ○ リコーダー講習（１１月） | ○ ＬＧＢＴ講話（１２月） |
| ○ 立志式（２月） | ○ 部活動支援、読み聞かせ（通年） |
| ○ 朝のあいさつ運動（９月、１月） | |

ボランティア登録者数（ 18 ）人
年間参加者実数（ 417 ）人

【連携・協働している機関】

K S S V C事務局・小林市キャリア教育支援センター等

2 特色ある取組の紹介

【農業体験学習】

1年生を対象に9月に実施した。本校の学校規模に合わせて日帰りで行っている。6名程度のグループで18の農家さんへ受け入れていただいた。通常の学校生活では学習できない貴重な学びができた。

- 「当たり前前に食べている野菜ですが、収穫して料理するととてもおいしく感じました。」
- 「普段できない体験ができ、たくさんのことを学ぶことができました。農家の方もとてもやさしく教えてくれました。」



【読み聞かせ】

「小林中学校おはなし会」のみなさんが1・2年生向けに午前8時から8時20分まで読み聞かせをしてくださった。1・2年生は年4回の読み聞かせの日を楽しみにしている。

- 「今日は読み聞かせでした。とても面白い話で、楽しかったです。次回が楽しみです。」
- 「今回は落語絵本でした。オチがとても面白かったです。また聞きたいです。」

3月には「3年生に贈るお話し会」を毎年行っている。大型スクリーンで絵本を映したり、読み聞かせをしながら音楽が流れていたり、3年生のよい思い出になっている。



3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 「小林中学校おはなし会」のご協力のおかげで、読書に親しむきっかけや心豊かに過ごす素地ができた。
- 農業体験については貴重な体験になっており、生徒の「食」への興味関心を高めるよいきっかけになった。
- 働き方改革を推進するための校時程の見直しを検討しており、時間の確保が難しくなっている。ボランティア団体との協議が必要である。
- 農業体験については教育的効果を高めるためには宿泊で行いたい。宿泊の受け入れが難しく、今後の在り方を検討している。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

「農業体験」「読み聞かせ」等の地域の資源をいかした学びは非常に重要で、子どもたちの成長につながっていた。一方で、子どもたちの充実した学びのために、校時程や教育課程について見直し、学校の課題をボランティア団体や地域の方々と共有し、よりよい方策を協議していくことが重要である。

【 細野中学校 】

1 実施状況 ◎ 今年度初めて実施した活動

○読み聞かせ（通年） ○朝のあいさつ運動（通年） ○部活動支援（通年） ○交通安全教室（4月19日） ○体育大会（5月19日） ○西諸みんなで人権について考える取組（6月26日） ○租税教室（7月5日：3年） ○農業体験学習（7月4日～5日：1年） ○職場体験学習（7月4日～5日：2年） ○地震想定避難訓練（9月17日） ◎細野地区クリーン作戦（10月12日）	○福祉体験手話講座（11月22日：3年） ◎人権学習講座：いのちの授業（12月18日） ○図書館まつり（12月17日～18日） ○駅伝ロードレース大会（12月2日） ○薬物乱用防止教室（1月9日） ○門松づくり（12月22日） ○火災想定避難訓練（1月8日） ◎根性行進・ふるまい（12月21日） ◎キャリア教育13歳のハローワーク（12月6日：1年） ○立志式（2月19日：2年）
ボランティア登録者数（ 7人） 年間参加者実数 120人 *見込を含む	【連携・協働している機関】 ○細野地区まちづくり協議会 ○北きりしま田舎物語推進協議会 ○市教育委員会スポーツ振興課 ○社会福祉協議会 ○KSSVC ○読み聞かせグループ：ママーズ

2 特色ある取組の紹介

《地域と連携した教育活動》 『防災教育を取り入れたクリーン作戦』 地区青少年育成市民会議と連携して、防災教育の観点から通学路の清掃活動と安全点検を行った。また、クリーン作戦後は、まちづくり協議会と連携し、本年度初の取組である『ほそのっ子防災フェスタ』を開催した。生徒、保護者、地域の方々が一緒になり、防災についての体験学習を行うことができた。 【参加者の感想】 通学路の危険箇所を親子で確認することができ、防災への意識を高めることができた。作成した防災マップをこれから活用していきたい。	《キャリア教育活動》 『13歳のハローワーク』 本事業では異なる職種の講師5名を招いて、パネルディスカッション方式で、それぞれの職業の特徴や働くことの意義、生きがいや苦労などについての話を聞くことができた。この体験を通して、自分の将来について見通しをもち、これからの自分に必要なことは何なのかについて深く考えるよい機会となった。 【生徒の感想】 講師の方の話を聞くことで、働くことの意義ややりがい、大変さなどについて学ぶことができた。とても貴重な経験になったので、これからの進路選択に生かしていきたいと思った。
《地域と連携した教育活動》 『防災教育』 社会科の授業において、地域人材を活用した防災の授業を実施した。災害対応としての「自助・共助・公助」の理念や「防災サバイバル」と題した災害を想定した実践的な取組を通して、防災対策の重要性について学んだ。 【生徒の感想】 講師の先生の話聞いて、自分自身の防災対策の在り方を見直すよいきっかけとなった。	《地域と連携した教育活動》 『根性行進』 本校の伝統行事として行われてきた行事である。清掃活動や校区内にある景勝地や文化財に触れながら歩くことを通して、忍耐と友情を培う活動として実施している。 【生徒の感想】 きつかったけど、友達と色々な話をしながら歩くことができて楽しかった。

3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

○ 地域の各機関や団体、法人等の協力や支援によって多くの行事を実施することができた。特に本年度は、安全や防災教育に係る学習活動を充実させ、地域、保護者を巻き込んだ防災対策の在り方について検討することができた。 ● キャリア教育や防災教育等、生徒の主体的な行動を促す手立てについて今後さらに検討していく必要がある。
--

4 課題解決の方策、今後の方向性など

○ 関連する活動計画について活動の見直しや精選を図りながら、地域や関係機関とのスムーズな連携により学校教育全体計画を編成していくことが重要である。
--

【 西小林中学校 】

1 実施状況 ◎ 今年度初めて実施した活動

○ 読み聞かせ（通年） ○ 交通教室（4月） ○ 技術・家庭科（さつまいもの植え付け：5月、さつまいもの収穫：11月、さつまいもを使った郷土料理調理実習：12月） ○ 不審者対応避難訓練（5月） ○ 手話講座（5月） ○ キャリア教育「未来予想図学習会」（6月） ○ 見直そう水分補給教室（7月） ◎ 総合フィールドワーク（7月） ○ SNS講習会（7月） ○ 防災学習（9月） ○ みんなでやってみよう（11月） ○ キャリア教育「職場体験学習」（11月） ○ 火災対応避難訓練（12月） ◎ 校内駅伝ロードレース大会
◎ キャリア教育「未来予想図発表会」（11月） ○ 郷土料理づくり（12月）
○ 立志のつどい（2月）

ボランティア登録者数（0）人

年間参加者実数（130）人 見込も含む

【連携・協働している機関】 ○ 農業生産法人 木村農園
○ にっこばまちづくり協議会 婦人部会 ○ 社会福祉協議会
○ 読み聞かせ ゆめいろ文庫 ○ 市内各事業所
○ 県立小林高校

2 特色ある取組の紹介

【記入例】いくつかの事例を、参加者の感想や画像を添えて紹介してください。

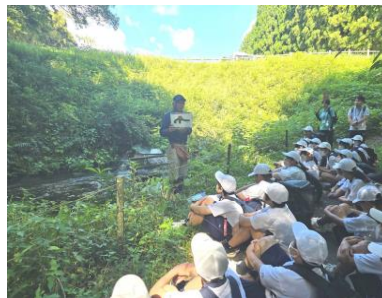
【手話講座】

5月に3年生のこすもす科の授業で手話について学習しました。聴覚に障害がある方の思いや考えが伝わることで今まで以上に身近に感じることができました。いろいろと覚えていきたくさんの人とコミュニケーションが取れるようになりたいです。



【総合フィールドワーク】

出の山水族館に行って、蜚に関する講話を聞きました。小林市は、自然が豊かできれいな水がたくさんあることを知りました。夏にはたくさんの蜚が飛び交うのでとても楽しみです。いつまでもきれいな環境が残っている小林市にしたいです。



【小林高校コラボ企画】

生徒会が企画して小林高校駅伝部と一緒に駅伝ロードレース大会がありました。小林高校駅伝部の方たちがペースメーカーとして走ってくれました。走っている途中もずっと声をかけてくれてとても走りやすかったです。本当に感謝でいっぱいです。



3 取組の成果と課題（○ 成果 ● 課題）

- 昨年度の成果を土台に見直しを行い、地域人材を活用したキャリア教育の質の向上を図ることができた。地域を見たり、聞いたり、触れたりすることで魅力を実感することにつながった。
- 目的と合致した地域人材の活用に関しては情報共有が必要である。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

今後は、現状に満足することなく、地域の方々の意見にさらに耳を傾け、よりよい取組となるよう、また本校ならではの持続可能な取組となるよう、カリキュラムおよび学習内容等の更なる見直しと改善を図っていきたい。

【 永久津中学校 】

1 実施状況 ◎ 今年度初めて実施した活動

- 読み聞かせ（通年） ○ 交通安全教室（４月） ○ P T Aによる美化活動（５月・１１月）
- 芋の苗植え・収穫体験（５月・１０月） ○ 学校保健委員会（６月） ○ 救急法（６月・８月）
- 稲作体験（６月・１０月） ◎ “届けよう、服のチカラプロジェクト”（７月～１１月）
- 高校説明会（７月・９月） ○ 性教育（９月） ○ 職場体験学習、福祉体験学習（９月）
- ◎ 認知症サポート講座（９月） ○ 農家食育（９月） ○ 手話講座（９月）
- 永久津ドンと祭り（１０月） ○ 租税教室（１１月） ○ 蕎麦打ち体験（１２月）
- 門松作り（１２月） ○ 永久津いきいき交流活動（１２月）
- キャリア教育講話※立志式（２月予定） ○ 薬物乱用防止教室（３月予定）

ボランティア登録者数（２６）人
年間参加者実数（約３００）人

【連携・協働している機関】

J Aこばやし、永久津営農組合、永久津いきいき協議会
小林市社会福祉協議会、小林市キャリア教育支援センター他

2 特色ある取組の紹介

(1)「芋の苗植え・収穫体験」

○ 芋の苗植え・収穫作業を全学年で実施した。昨年度と本年度は、暑さの影響等で収穫量は少なかったが、楽しい体験となった。収穫量が少ないことで、子どもたちががっかりしないように、学校支援ボランティアの方の畑で収穫された芋をたくさんいただいた。土地を貸していただいた方、苗を提供していただいた方、苗植えから収穫作業まで作業を指導していただいた学校支援ボランティアの皆さん、ありがとうございました。



(2) “届けよう、服のチカラプロジェクト”



○ ユニクロ・GUを展開しているファーストリテイリングと協力して始めた【届けよう 服のチカラプロジェクト】にて、段ボール１６箱分（１７００枚）の服が集まった。「地域の方々」、「ユニクロ小林店」、子どもたちが卒業（卒園）した「永久津小学校」「まがた保育園」「南保育園」にも協力していただいた。子どもたちは、このプロジェクトを通して、難民について正しく理解することができ、服を必要としている人々に思いを寄せ、行動することができた。

(3)「永久津ドンと祭り」

○ 永久津いきいき協議会主催の「永久津ドンと祭り」は、地域が一体となって取り組む活動となっている。地域からは、「中学生の協力が不可欠」との意見をいただいていた。本年度からは、「永久津ドンと祭り」実行委員会の段階から中学生が参加し、企画・運営にあたった。地域の方々は、中学生の参画を大変喜ばれた。



3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 地域活動に「中学生の協力が不可欠」となっているが、企画の段階から参画することができた。
- 少子高齢化が進む中で、学校行事・地域行事の「持続可能」な方策について、地域との連携を進めていく必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- 本年度実施した行事で、地域や関係機関との連携ができているものは、今後も継続して取り組んでいきたい。学校保健委員会、性教育、キャリア教育講話、食育講話については、生徒・保護者のニーズを踏まえた内容にしていきたい。

【 東方中学校 】

1 実施状況

○ 読み聞かせ（通年）	◎ 芋プロジェクト（通年）
○ 東方輪太鼓踊り指導【輪太鼓保存会】（通年）	○ 福祉体験学習（7月）
○ 花いっぱい運動（通年）	○ ふれあい体験学習（7月）
○ 登下校安全指導（通年）	
ボランティア登録者数（ 61 ）人 年間参加者実数（105）人 見込も含む	【連携・協働している機関】 東方地区社会福祉協議会・社会福祉法人連絡会・キャリア教育支援センター

2 特色ある取組の紹介

1 芋プロジェクト！！

○ 活動内容

地域住民の方々の全面的なバックアップを受けて、今年度より芋プロジェクトが始動しました。畑の確保、苗の準備、畑の整備等地域の方の力なしでは到底なしえないものでした。収穫したサツマイモは、地域の方を講師に招いて、郷土料理にしておいしくいただきました。



○ 参加者の声

- ・ 自分たちで苗植えから調理までして食べた「がね」と「大学芋」は格別においしかったです。（生徒）
- ・ 今年度からのプロジェクトにも関わらず、地域の方々の全面協力があったので成功でした。次年度さらに発展させるためのアイデアをみんなで考えます。（教職員）

3 取組の成果と課題（○:成果 ●:課題）

- 地域住民の方は、こちらからの要望に対して、100%以上の協力をいただける。
- 全面的に学校や生徒のために協力はしていただいているが、学校支援の状態であるため、学校も地域の両者がハッピーになれるように、真の地域学校協働活動を目指していきたい。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- ・ 次年度の学校運営協議会委員に、まちづくり協議会から選出し協議する機会を増やしていく。
- ・ 社会福祉協議会の協力を得て、月1回であるが、学校の一角にご近所カフェ「おじゃったもんせカフェ」を復活させ、地域住民が集まるようになっているので、そこでの情報交換を通して、地域と学校の想いを共有していきたい。
- ・ 地域行事への参加ではなく、参画を目指して、生徒と地域が協議する場の設定も必要である。

【 三松中学校 】

1 実施状況 ◎ 今年度初めて実施した活動

○読み聞かせ（通年） ○交通安全教室（4月） ○避難訓練：地震（5月）
 ○薬物乱用防止教室（6月） ○農業体験学習（6月） ○高校説明会（6月）
 ◎記紀みらい塾（7月） ○避難訓練：不審者対応（9月） ○岩戸神楽（10月）
 ○職場体験学習（11月） ○花壇植栽（11月） ○手話講座（11月）
 ◎学びの放課後（11月から通年） ○鑑賞教室（11月） ○13歳のハローワーク（12月）
 ○避難訓練：火災（12月） ○礼法指導教室（12月） ◎学校保健委員会（性教育）講演会（12月）
 ◎玉名高校吹奏楽部演奏会（12月）◎世界一明るい視覚障害者講演会（1月）
 ◎立志の集い（こうのとりのゆりかご）講演会（2月）

ボランティア登録者数（ 2 ）人
 年間参加者実数（ 681 ）人 見込も含む

【連携・協働している機関】

- ・KSSVC事務局、小林市地方創生課、
- ・小林市キャリア教育支援センター、岩戸神楽保存会
- ・北きりしま田舎物語推進協議会、三松中読み聞かせ等

2 特色ある取組の紹介

【農業体験学習(6月)：第1学年】

北きりしま田舎物語推進協議会のご支援の下、第1学年は、16の農家の方々にお世話になり、「見て、聞いて、触って、嗅いで、味わって」の五感を大切にした通常の学校生活では味わえない貴重な学びを体験させていただいた。

「勤労の尊さ、自然を感じ取る力、日本の食を支える農業を大切にしてほしい」との言葉を農家代表の方からいただいた。



【岩戸神楽(10月)：第2学年】

神楽保存会の方々のご指導を仰ぎながら、第2学年は、「こすもす科」や長期休業中に練習を重ね、毎年、文化発表会の折に岩戸神社に伝わる神楽を舞い、地域の方々や保護者に披露している。

本校の伝統として、保存会代表の「岩戸神楽の学びを通して、日本人の優しく強い心と郷土愛を育んでほしい」との言葉を引き続き大切にしていきたい。



【学びの放課後(11月)：第3学年】

学校支援ボランティアのご指導の下、第3学年は、11月より、教科の補充・強化学習に自主的に取り組み、授業の理解度定着や高校入試に向けた対策及び苦手教科の克服に努めている。

「丁寧にわかりやすく教えてくださり、自信がついた。次回も教えに来てくださいと予約のお願いをした。」など、生徒の率直な言葉に手応えを感じている。



【学校保健委員会（性教育）講演(12月)】 ※本講演及び下記演奏会は全校生徒対象

小林市キャリア教育支援センターのご紹介により、「骨髄バンク」設立に奔走された大谷 貴子さん、また自身がドナー提供者である今垣内 正さんを講師に「普通に生きることの幸せ、勉強する意義」についてお話いただき、生きる意味を考える時間となった。



【玉名高校吹奏楽部演奏会(12月)】

上記センターのご紹介により、玉名高校吹奏楽部「Ventures」の皆さんを講師に演奏会を開催した。全国大会常連の吹奏楽部によるマーチングはまさに圧巻で、終始引き込まれる内容であった。トップレベルの演奏を体感する機会となった。



3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 関係諸機関との連携・協働の下、各学年ともに生徒の発達段階や「こすもす科」のねらいに沿った多様な学びを展開することができた。
- 保護者及び各区長へのご依頼等を通じた「学校支援ボランティア」の募集により、上記「学びの放課後」の取組の実現につながった。
- 地域ボランティアの活用について、「開かれた学校」の具現化の一つの形として、引き続き実効性のあるものとなるよう啓発の在り方に係る工夫改善を図っていく。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

地域コーディネーターと連携を密に図りながら、生徒の地域の行事への参加及び機会の創出を行うとともに、意図的に学校・地域間の交流を増やすことにより協働の学校づくりの具現化を図っていく。

1 実施状況

○ 読み聞かせ（通年）	○ 交通安全教室（４月）	○ 薬物乱用防止教室（７月）
○ 救急救命講習（７月）	○ 手話講座（７月）	○ 浜ノ瀬ダム見学（７月）
○ 職場体験学習（７月）	○ 福祉体験学習（７月）	○ 救急救命講習（７月）
○ ボランティア講習（７月）	○ 暮らしの困り事たすけ隊（８月）	
○ 地震避難訓練（９月）	○ ものづくり教室（９月）	○ 水泳指導・見守り（９月）
○ 農業体験学習（１０月）	○ 土俵縄づくり（１０月）	○ 火災対応避難訓練（１２月）
○ しめ縄づくり（１２月）	○ 年賀状交流（１２月）	○ 小林未来予想図での地域学習（７月～１１月）
ボランティア登録者数(30)人 年間参加者実数(100)人		【連携・協働している機関】 学校運営協議会 社会福祉協議会須木支所 須木友愛クラブ すきむらづくり協議会 西諸広域行政事務組合中央消防署須木分遣所 等

2 特色ある取組の紹介

【安全教育】

全校生徒を対象に、学校薬剤師による薬物乱用防止教室、消防署須木分遣所の消防士による救急法を実施した。生徒達は「安全面への意識を高めることができた」などの感想を持つことができた。

【暮らしの困りごと助け隊】

夏季休業中、小林市社会福祉協議会須木支所が中心となって、須木地区のボランティア活動を実施した。生徒は、事前学習としてボランティア講習を受講し、その後、地域の区長さんと共に活動した。晴天の中、充実した活動となり、地域の方々からも感謝の言葉をいただいた。

【土俵の縄づくり】

すきむらづくり協議会が中心となり、１１月のほぜ祭りで使う土俵の縄づくりに参加した。地域の方々も参加し、友愛クラブの方々に指導していただいた。昨年度も実施していることもあり、生徒達は慣れた手つきで作業していた。

むらづくり協議会からは「地域の活性化のために今後も継続して取り組んでもらいたい」と感謝の言葉をいただいた。

【しめ縄づくり】

１２月に地区の友愛会の方々に講師に招いてしめ縄づくりを実施した。当日は、わらを準備していただき、熱心に指導していただいた。友愛クラブの方々には「毎年、楽しみにしている」とありがたい言葉をいただいている。



救急救命



暮らしの困りごと助け隊



土俵づくり



しめ縄づくり

3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 昨年に引き続き、社会福祉協議会やすきむらづくり協議会と連携し、充実した活動を行うことができた。
- 専門性の高い地域人材を活用し、深みのある活動ができた。
- 地域の活性化に繋がるような活動を取り入れていきたい。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- 地域の特色を生かした地域学習ができるよう、さらに多くの地域の方々と新しい協働体制の構築を図りたい。

1 実施状況 ◎ 今年度初めて実施した活動

○ 読み聞かせ（通年 2月1回：たんぼぼ） ○ 部活動指導（通年：8名） ○ 小林警察署による交通安全教室（4月） ◎ 避難訓練「災害時引き渡し訓練」（5月） ◎ 西諸広域消防本部による救急救命講習会（6月） ◎ 農業体験学習1年・職場体験学習2年（6月） ○ 県立高校説明会（6月） ○ SNSメディア講座（6月）	○ 人権教育（7月・12月） ◎ 避難所運営訓練（8月） ○ 手話講座（9月） ○ 薬物乱用防止教室（11月） ○ 認知症サポーター養成講座（11月） ○ スクールコンサート「鑑賞劇」（11月） ○ 「小林市未来予想図」に係る講義（11月） ○ 性教育（12月・2月・3月） ○ 給食感謝集会（2月）
ボランティア登録者数（21人） 年間参加者実数（166人）	【連携・協働している機関】 ○ 小林市キャリア教育支援センター ○ 読み聞かせグループたんぼぼ

2 特色ある取組の紹介

《避難訓練「災害時引き渡し訓練」》

自然災害時（緊急時）における生徒の安全確保と保護者との連携をスムーズに行うため、中学校区にある小・中の3校合同で、同日に「災害時の保護者への引き渡し訓練」を実施した。校内での車の進行方向を一方通行にしたりするなど工夫したことで、特に大きな混乱もなく実施できた。



《避難運営訓練（3学年）》

南海トラフ巨大地震が発生した場合、本校が宮崎市方面からの避難民を受け入れる可能性があることから、保護者と消防本部の協力を得て8月8日に訓練を行った。しかし、当日の宮崎で震度6の地震が実際に発生し、後半予定していたゆーぱるのじりと連携した宿泊活動は中止となった。



《西諸広域消防本部による「救急救命講習会」》

西諸広域消防本部から6名の隊員をゲストティーチャーにお招きし、「救急救命講習会」を実施した。心肺蘇生法やAEDの使い方、搬送の仕方や応急手当等、生徒たちにとって緊急時における対応の仕方を学ぶ、たいへん意義深い時間となった。



《農業体験学習（1学年）》

北きりしま田舎物語推進協議会の協力により、小林地区・えびの地区・高原地区の9つの農家で、収穫した作物を使った昼食づくりや家畜のお世話などを体験した。「学校では経験できない活動から、農業の素晴らしさなどに気づいた。」という生徒の感想もあった。



3 取組の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- コロナ禍以前に行っていた活動を対面式でほぼ復活することができた。また前年度とは異なる方々に講師等で協力していただくことで、マンネリ化を防ぎ、新たな「学び」を得ることができた。
- 学校と地域コーディネーターとの相互の連携を密にしていく必要がある。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

- 学校行事や地域、関係機関との連携による行事については、活動の見直しや精選を図る必要がある。
- キャリア教育センターとの連携を今後も継続し、さらにキャリア教育の推進を図りたい。
- 様々な活動を展開するにあたり、地域の方々の協力は必要不可欠である。今後は、地域の人材を発掘していくことが課題である。

1 実施状況

- | | |
|---|-----------------------|
| ○ 陸上クラブ指導（通年） | ○ 地域植栽活動（7月） |
| ○ 朝の交通指導・あいさつ（通年） | ○ 陶芸教室（7月、9月） |
| ○ 読み聞かせ（通年：月1回） | ○ 租税教室（7月） |
| ○ 稲作体験学習（田植、稲刈り、餅つき）
（5月、7月、8月、9月、10月、12月） | ○ スマホ・ケータイ安全教室（7月） |
| ○ 薬物乱用防止教室（6月） | ○ 伝統芸能城攻め踊り指導（9月、10月） |
| ○ 手話講座（6月） | ○ 職場体験学習（11月） |
| ○ 高校説明会（6月） | ○ 高妻神社清掃（11月） |
| ○ プール清掃（6月） | ○ 避難訓練：火災（11月） |
| ○ 認知症サポーター養成講座（6月） | ○ 世代間交流「しめ縄作り」（12月） |
| | ○ ものづくり体験教室（1月） |

ボランティア登録者数(延78)人

年間参加者実数(延200)人 見込も含む

【連携・協働している機関】

読み聞かせグループたんぽぽ、KSSVC事務局
紙屋校区社会福祉協議会、地域コーディネーター
紙屋一徳まちづくり協議会 のじり包括支援センター

2 特色ある取組の紹介

1 「認知症について学ぼう」(認知症サポーター養成講座)

○ 活動内容

地域ののじり包括支援センターから4名、地域の見守り隊から2名の方々が来校され、第1学年の生徒に対して「認知症について学ぼう」と題して認知症サポーター養成講座をしていただいた。

○ 参加者の声

生徒は、「認知症についていろいろと知ることができたのでよかった」「初めて知ることがたくさんありました」と、またコーディネーターは「中学生に対してこのような講座が開けて良かった。認知症についてもっと理解していただきたい。また、できれば毎年開催してもらえるとありがたい。本日は、ありがとうございました。」とお礼を述べた。



2 世代間交流「しめ縄づくり」

○ 活動内容

第1学年の生徒が、他者を敬う精神や伝統を重んじる心を養うことを目的として、しめ縄づくりに挑戦した。市社会福祉協議会の方々8名からご指導をいただきながら、上手にしめ縄を完成させることができた。指導者の手さばきに、生徒達も目を奪われていた。

○ 参加者の声

初めに社会福祉協議会の代表の方が「五穀豊穡や家内安全、交通安全を祈願しながらしめ縄を作ってください」とあいさつをされ、最後に子ども達からは「難しかったけど、丁寧に教えてくださり作ることができました。ありがとうございました」とお礼を述べていた。



3 取組の成果と課題（○:成果 ●:課題）

- 保護者や地域住民を中心としたボランティアの皆様の学校教育に対する期待は大きく、非常に協力的で多様な取組を推進することができた。
- 学校だよりや学級通信、新聞記事等とおして、保護者や地域に学校の取組を知ってもらうための情報発信を行うことができた。
- 小規模校であるが、本当に多くの地域の方々に支えられて様々な活動ができている。しかし、どのボランティアの方も高齢で、年々取組が厳しくなっているように感じるが、何とか例年どおりに近い活動はできた。

4 課題解決の方策、今後の方向性など

ボランティアの協力者のほとんどが高齢者ということもあり、感染症への対策を考慮しながらの取組となっている。できるだけ例年通りの活動ができるよう工夫しながら今後も末永く、取り組んでいきたいと考えている。

小林市の地域学校協働活動 ～ 成果・課題・今後の方向性など ～

各学校の成果・課題・方向性の一部を
関連する内容ごとにまとめました。詳しく
は学校のページをご覧ください。
編集後記の中で考察しています。

【活動の目的・内容】

- ◇ 地域の方が体験活動だけでなく、機械の説明や農家の方の苦勞など具体的に話をしてくださるので、社会科の学習の充実につながっている。（細野小）
- ◇ 昨年度の成果を土台に見直しを行い、地域人材を活用したキャリア教育の質の向上を図ることができた。地域を見たり、聞いたり、触れたりすることで魅力を実感することにつながった。（西小林中）
- ◇ コロナ禍以前に行っていた活動を対面式でほぼ復活することができた。また前年度とは異なる方々に講師等で協力していただくことで、マンネリ化を防ぎ、新たな「学び」を得ることができた。（野尻中）
- ◇ ボランティアの協力者のほとんどが高齢者ということもあり、感染症への対策を考慮しながらの取組となっている。できるだけ例年通りの活動ができるよう工夫しながら今後も末永く、取り組んでいきたいと考えている。（紙屋中）

【地域への理解・愛着】

- ◇ 地域にゆかりのある一流の方々（文化・芸能）に直接触れる機会を積極的に設定したり、家庭教育学級と連携して、親子で学びのある取組を意図的に計画したりした。その結果、児童の意欲向上を図るとともに、ふるさと・地域のよさを再確認することができた。（西小林小）
- ◇ 各活動が児童にとって地域との関わりをより深く実感できる機会となっている。地域行事にも積極的に参加し、地域の方々とのよりよい関係性を保っておく。（永久津小）
- ◇ 学校行事に協力的な保護者や地域の方が多く、学習活動でも積極的に外部講師と連携した取組が行われ、地域に開かれた学校づくりの推進が図られた。（三松小）
- ◇ 生駒・幸ヶ丘の未来について考える機会を設けたことで、少しでも自分たちの住んでいる地域を愛し、守っていこうとする思いや感情が少しずつ芽生えてきたように感じた。これからもこのようなみんなで話す機会を増やし、地域とともに活動する学校にしていきたい。（幸ヶ丘小）
- ◇ 新たに「いろどりの里」での自然体験活動や「オオムラサキ」に関する学習など、須木のよさを知る学習の機会を設定できた。（須木小）
- ◇ 地域活動に「中学生の協力が不可欠」となっているが、企画の段階から参画することができた。（永久津中）

- ◇ 次年度の学校運営協議会委員をまちづくり協議会から選出し、協議する機会を増やしていく。社会福祉協議会の協力を得て、月1回、学校の一角にご近所カフェ「おじゃったもんせカフェ」を復活させ、地域住民が集まるようになっていっているので、そこでの情報交換を通して、地域と学校の想いを共有していきたい。（東方中）

【教職員の働き方・負担の軽減】

- ◇ ボランティアや地域の方は、学校ともっと関わりたいという願いがある。その願いと教職員の働き方改革をどのようにつなげていくのが課題である。（南 小）
- ◇ 小学校PTAから卒業する保護者もいるので、在籍しているうちに学習支援ボランティアに登録してもらおう。また、地域へも呼びかけを行っていく。（紙屋小）
- ◇ 働き方改革を推進するための校時程の見直しを検討しており、時間の確保が難しくなってきた。ボランティア団体との協議が必要である。（小林中）
- ◇ 保護者及び各区長へのご依頼等を通じた「学校支援ボランティア」の募集により、「学びの放課後」の取組の実現につながった。（三松中）

【緩やかなネットワーク】

- ◇ 外部講師との事前の打ち合わせや材料や場所の準備など大変なこともあった。「シンプルで」「無理なく」「継続」できるように、組織や計画を見直すことが課題である。（小林小）
- ◇ キャリア教育の視点をふまえて、地域の人材、素材を活用していくことはもとより、学校と地域をスムーズに結びつけるコーディネーターの人材発掘を行っていく。（東方小）
- ◇ 例年、年度初めに連携・協働している機関との打合せを行っているが、それぞれの機関が一堂に会する機会を設定することで、今後は横の繋がりを強化していきたい。（野尻小）
- ◇ ボランティア会議等の定期的な協議の場を設けたり、地域の会合等に積極的に参加したりしながら情報交換を行うとともに、子どもたちのために何ができるかを共に考え、活動していく連携・協働の仕組みを整えていく必要がある。（栗須小）
- ◇ 地域の各機関や団体、法人等の協力や支援によって多くの行事を実施することができた。特に本年度は、安全や防災教育に係る学習活動を充実させ、地域、保護者を巻き込んだ防災対策の在り方について検討することができた。（細野中）
- ◇ 昨年に引き続き、社会福祉協議会やすきむらづくり協議会と連携し、充実した活動を行うことができた。（須木中）

2024(令和6)年度 KSSVC 事務局 取材等一覧					
1	4. 16	火	西小林小	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
2	4. 16	火	小 林 中	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
3	4. 17	水	定 例 会	学校教育課・キャリア教育支援センター・KSSVC（月に1度開催）	
4	4. 17	水	東 方 中	交通安全教室	押領司先生（県自転車競技連盟理事長）
5	4. 18	木	幸ヶ丘小	1年生を迎える会	自校方式
6	4. 18	木	三 松 中	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
7	4. 19	金	細 野 中	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
8	4. 24	水	野 尻 小	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
9	5. 8	水	細 野 小	あいさつ運動	自校方式
10	5. 8	水	細 野 小	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
11	5. 8	水	南 小	交通安全教室	えびの高原ドライビングスクール
12	5. 10	金	東 方 小	読み聞かせ	よんみろ会
13	5. 13	月	野 尻 小	ボランティア集会・ボランティア会議	ボランティアグループの代表者
14	5. 15	水	南 小	5年体育の出前授業	小林中学校新体操部
15	5. 17	金	紙 屋 小	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
16	5. 20	月	紙 屋 小	1・2年さつまいもの苗植え	JA こばやし青年部
17	5. 21	火	紙 屋 小	4年清掃工場見学	谷村さん（クリーンアース）
18	5. 21	火	三 松 小	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
19	5. 23	木	西小林中	3年手話の学習	徳永さん・真方さん(木の実会)
20	5. 24	水	東 方 中	さつまいもの苗植え	本田さん（技術科講師）・地域住民
21	5. 27	月	西小林小	5年畦づくり	JA こばやし青年部・PTA 環境整備部
22	5. 30	木	三 松 小	1年小中交流学习	三松中3年生
23	5. 30	木	東 方 小	4年清掃交流	こすもす支援学校1～4年生
24	6. 4	火	南 小	3年ホテルの学習	松永さん(商工観光課) 西さん(調査員)
25	6. 4	火	幸ヶ丘小	プール開き	市営プール
26	6. 5	水	紙 屋 中	薬物乱用防止教室	小林警察署刑事課・生活安全課
27	6. 6	木	西小林小	3年ホテルの授業	松永さん(商工観光課)
28	6. 6	木	須 木 小	3・4年浄水場見学	八重尾さん・奥平さん（上下水道課）
29	6. 7	金	栗 須 小	学校支援ボランティア歓迎集会	地域のボランティア12名
30	6. 7	金	紙 屋 中	3年手話教室	野尻手話サークル
31	6. 11	火	西小林小	読み聞かせ	ゆめいろ文庫・西小林中生
32	6. 11	火	西小林小	5・6年田植え	JA こばやし青年部・PTA 環境整備部
33	6. 14	金	小 林 小	6年二原遺跡見学	小林ガイドボランティア協会
34	6. 17	月	栗 須 小	6年プール清掃	小林市消防団
35	6. 20	木	西小林中	3年小林未来予想図	小林市役所職員（9課）
36	6. 21	金	細 野 小	灯ろうづくり（霧島岑神社六月燈）	細野まちづくり協議会
37	6. 24	月	西小林小	国際交流の授業	トニーさん（国際交流員）
38	6. 25	火	栗 須 小	4年みどりの少年団結団式	農業振興課職員
39	6. 26	水	永久津小	交通安全教室	小林警察署・交通安全協会
40	6. 26	水	細 野 中	西諸みんなで人権について考える取組	人権擁護委員
41	6. 27	木	永久津小	3年九州グンゼ工場見学	富永さん
42	6. 27	木	三 松 中	1年農業体験学習	北きりしま田舎物語
43	7. 2	火	小 林 小	6年租税教室	小林税務署・小林法人会
44	7. 3	水	紙 屋 中	1年地域に花を植える活動	紙屋一徳まちづくり協議会
45	7. 3	水	三 松 小	6年史跡巡り	小林ガイドボランティア協会
46	7. 4	木	南 小	秀峰高校農業科講話	農業科3年生
47	7. 4	木	野 尻 小	ネパール国際交流	国際交流支援の会
48	7. 4	木	紙 屋 中	1年陶芸教室	園田さん（園田陶苑）
49	7. 5	金	須 木 小	灯ろうづくり（須木納涼花火大会）	自校方式

50	7. 7	日	幸ヶ丘小	魚のつかみ取り大会	保護者
51	7.11	木	須 木 中	1 年浜ノ瀬ダム見学	西諸土地改良区
52	7.11	木	市 教 委	「協働の学校づくり」推進協議会	学校・地域コーディネーター他
53	7.12	金	須 木 中	2 年職場体験学習	6 事業所
54	7.16	火	須 木 中	薬物乱用防止教室	松山さん（小林こすもす薬局）
55	7.17	水	紙 屋 小	4～6 年城攻め踊りの練習	城攻め踊り保存会
56	7.17	水	南 小	6 年海上安全教室（着衣水泳）	宮崎海上保安部
57	7.18	木	紙 屋 中	スマホ・ネット安全教室	NTT ドコモ（オンライン）
58	8. 2	金	須 木 中	くらしの困りごと助け隊	社会福祉協議会須木支所
59	8. 2	金	幸ヶ丘小	木工教室（放課後子ども教室）	西諸地区森林組合
60	8. 2	金	市 教 委	小林市内史跡めぐり	学校教育課・社会教育課
61	8. 5	月	市 教 委	水質・水中生物調査	社会教育課
62	8. 7	水	キャリア教	こばやし未来創造塾「起業家サミット」	市内外の起業家 3 名
63	8. 7	水	キャリア教	高校生寺子屋 テナム	小林高校の生徒、延べ 40 名（3 日間）
64	8. 8	木	野 尻 中	3 年避難所運営訓練	危機管理課・小林 SVC・市消防団等
65	8.19	月	紙 屋 中	平和学習（朗読劇「蒼天の向こうへ」）	サラみやざき
66	9. 1	日	ま ち 協	紙屋一徳防災フェスタ	組長・民生委員・消防団他
67	9. 3	火	永久津小	6 年租税教室	小林県税・総務事務所
68	9. 4	水	細 野 中	生涯学び続けるための学習	自校方式
69	9. 5	木	細 野 小	4 年そばの種まき	営農組合・JA こばやし
70	9. 5	木	永久津中	3 年手話講座	真方さん・岡元さん（木の実会）
71	9. 6	金	南 小	3 年まちなか松栄見学	本村さん（店長）
72	9. 6	金	細 野 中	3 年思春期ピアカウンセリング	宮崎大学看護学科・小林保健所
73	9. 9	月	小 林 小	読み聞かせ	くすの本文庫
74	9.10	火	西小林小	3 年鎌之手踊りの学習	東さん（地域住民）
75	9.12	木	三 松 中	読み聞かせ	読み聞かせサークル
76	9.12	木	永久津小	3 年まちなか松栄見学	本村さん（店長）
77	9.12	木	紙 屋 小	4・5・6 年城攻め踊りリハーサル	城攻め踊り保存会・保護者
78	9.12	水	東 方 小	2 年ふれあい交流	こすもす支援学校 2 年生
79	9.18	水	東 方 小	鑑賞教室（江戸太神楽）	仙若さん
80	9.18	木	永久津中	読み聞かせ	読み聞かせサークル
81	9.19	木	三 松 小	6 年ものづくり体験教室	板金・染色・造園の技能士
82	9.19	金	南 小	南小まつり（12 の体験活動）	地域のボランティア・外部講師
83	9.20	木	小 林 小	4 年兵児踊りの練習	兵児踊り保存会
84	9.25	金	細 野 小	2 年市立図書館見学	図書館職員
85	10. 3	木	西小林小	グループホーム訪問	和福祉サービス
86	10. 4	金	紙 屋 小	紙屋小・中鑑賞教室	和太鼓&篠笛ユニット「かんがみぞ」
87	10. 4	金	永久津小	3・4 年陽光の里訪問	デイサービスセンター
88	10. 7	月	細 野 小	4 年九州北清工場見学	九州北清社員
89	10. 7	月	細 野 中	鑑賞教室	民話芸術座
90	10. 9	水	南 小	4 年モーモースクール	JA 宮崎経済連他
91	10.10	木	小 林 中	文化発表会（総合発表）	自校方式
92	10.21	月	野 尻 小	1・2 年生いもほり	営農組合・JA こばやし・保護者
93	10.23	水	西小林小	4 年認知症サポーター養成講座	西部地域包括支援センター
94	10.24	木	幸ヶ丘小	幸っこフェスタ（畳づくり・話し合い活動）	各種団体・市議員・地域住民等
95	10.25	金	三 松 中	文化発表会（岩戸神楽・総合発表）	岩戸神楽保存会・保護者
96	10.28	月	西小林小	稲刈り	JA こばやし青年部・保護者
97	10.31	木	三 松 小	1 年非行防止教室	都城警察署少年サポートセンター
98	11. 5	火	南 小	3 年消防署見学	消防署職員
99	11. 5	火	野 尻 中	薬物乱用防止教室	小川さん（学校薬剤師）

100	11. 6	水	東 方 小	4・5年交流発表タイム	こすもす支援学校
101	11. 7	木	細 野 小	5年稲刈り	細野まちづくり協議会・JA こばやし他
102	11. 7	木	西小林中	3年みんなでやってみよう	西小林小と幸ヶ丘小の1年生
103	11. 7	木	東 方 中	パラスポーツ交流	こすもす支援学校
104	11. 8	金	小 林 中	2年VR体験	登嶋さん（東大先端科学技術研）
105	11.12	火	小 林 小	6年非行防止教室	自校方式（資料：都城警察署提供）
106	11.13	水	三 松 小	5年非行防止教室	都城警察署少年サポートセンター
107	11.14	木	栗 須 小	スマホ・ネット安全教室	NTTドコモ（オンライン）
108	11.14	木	三 松 中	1年花壇植栽活動	小林土木事務所・造園組合他
109	11.15	金	永久津中	3年租税教室	濱田さん（税理士）
110	11.18	月	西小林小	5年土木の日出前授業	小林土木事務所・建設業協会他
111	11.22	金	細 野 小	鑑賞教室	ママーズ
112	11.22	金	紙 屋 中	1・3年高妻神社の清掃	自校方式
113	11.23	土	紙 屋 小	城攻め踊り奉納	高妻神社・地域住民
114	11.26	火	栗 須 小	4年みどりの少年団啓発活動	市内4か所での募金活動
115	11.28	木	須 木 小	4年校外学習「用水路見学」	小林ガイドボランティア協会
116	12. 3	火	永久津小	5年保育士体験	永久津保育園
117	12. 4	水	南 小	5年保育士体験	南保育園・小林乳児保育園
118	12. 5	木	三 松 中	13歳のハローワーク	講師5名
119	12. 6	金	西小林中	駅伝ロードレース大会	小林高校男女駅伝部
120	12. 6	金	細 野 小	4年いのちの授業	宮崎県動物愛護センター
121	12. 6	金	細 野 中	13歳のハローワーク	講師5名
122	12. 6	金	細 野 中	3年小林未来予想図	宮原市長・市職員
123	12.11	水	野 尻 小	5・6年親子で学ぶ防災教室	町元さん（宮崎防災士ネットワーク）
124	12.12	木	須 木 中	しめ縄づくり	友愛クラブ
125	12.13	金	紙 屋 小	5年保育士体験	紙屋保育園
126	12.13	金	紙 屋 中	1年しめ縄づくり	紙屋校区社会福祉協議会
127	12.17	火	野 尻 中	3年餅つき	PTA 学年部
128	12.18	水	紙 屋 小	クリスマスおはなし会	わたぐも絵本の会
129	12.18	水	三 松 小	冬のおはなし会	わたぐも絵本の会
130	12.19	木	三 松 中	2年礼法教室	森日和さん（小笠原流礼法師範）
131	12.20	金	細 野 小	給食感謝集会	斉藤先生（栄養教諭）
132	1. 9	木	細 野 中	薬物乱用防止教室	山元さん（学校薬剤師）
133	1.10	金	三 松 小	5年手話教室	木の実会
134	1.15	水	東 方 中	読み聞かせ	坂下さん
135	1.15	水	西小林小	5年保育士体験	西小林保育園
136	1.16	木	西小林中	読み聞かせ	ゆめいろ文庫
137	1.21	火	細 野 小	餅つき	細野まちづくり協議会
138	1.22	水	小 林 小	5年キャリア教育交流会	5職種の講師6名
139	1.24	金	紙 屋 小	3年城攻め踊りの学習	手塚さん（保存会会長）
140	1.24	金	須 木 小	給食感謝集会	斉藤先生（栄養教諭）
141	1.28	火	栗 須 小	3年手話の学習	野尻手話サークル
142	1.29	水	栗 須 小	給食感謝集会	自校方式
143	1.30	木	紙 屋 小	避難訓練（もくもく体験）	御池青少年自然の家
144	1.31	金	市 教 委	キャリア教育担当者会	小中学校の担当者
145	2. 6	木	野 尻 小	3年野尻民俗資料館見学	小林ガイドボランティア協会
146	2. 6	木	細 野 小	3年八幡原文化財展示室見学	井上さん（社会教育課）
147	2.10	月	三 松 小	4年オオヨドカワゴロモの学習	井上さん（社会教育課）
148	2.14	金	三 松 中	2年立志式・記念講演	宮津航一さん
149	2.17	月	須 木 小	4～6年お菓子作り（クラブ活動）	前原さん（プチパリ）

150	2. 19	水	細 野 中	立志式	自校方式
151	2. 20	木	市 教 委	「協働の学校づくり」推進協議会	学校・地域コーディネーター他
152	2. 21	金	栗 須 小	5年夢発表会	自校方式
153	2. 25	火	西小林小	読み聞かせ	西小林中1年生・ゆめいろ文庫
154	2. 26	水	紙 屋 中	台湾との国際交流（リモート）	黒木さん（国際交流コーディネーター）
155	3. 4	火	細 野 小	幼保小交流会	細野保育園・認定こども園日章
156	3. 6	木	紙 屋 小	5年地域に花を植える活動	紙屋一徳まちづくり協議会
157	3. 6	木	東 方 小	6年生を送る会	こすもす支援学校
158	3. 10	月	三 松 中	3年性教育講話	安藤さん（助産師：ほのか助産院）
159	3. 11	火	須 木 小	5・6年須木の未来づくり提言	須木支所職員・地域住民
160	3. 11	火	紙 屋 中	3年卒業記念植樹・地域の清掃活動	紙屋一徳まちづくり協議会
161	3. 12	水	東 方 中	地域の高齢者に花を贈る活動	地域住民
162	3. 14	金	小 林 中	3年生に贈るおはなし会	市内の読み聞かせサークル



令和6年度 学校別学校支援ボランティア活動実績（年間）

学校名		学校支援ボランティアの活動分野																										合計	ボランティア実人数								
		学 習 支 援 活 動														部活動		環境整備			登下校安全指導	学校行事			地域ボランティアとの連携調整	児童生徒の休み時間における対応	給食時の対応		(キャリア教育含む)	進路指導の補助	区 分						
		国語	算数・数学	理科	社会	外国語活動・外国語	体育・保健体育	音楽	図画工作・美術	家庭・技術家庭	総合的な学習の時間	生活	道徳	特別活動（学校行事以外）	その他	読み聞かせ	放課後学習支援	土日等学習支援	運動系	文化系		施設・備品等の補修・清掃等	花壇整備・植木剪定等	学校図書室の環境整備							体育系	文化系	その他	保護者	（保護者を除く）地域住民	学生	その他
小 林 小	実施件数	0	0	0	0	0	4	0	0	0	8	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	197	2	0	0	0	0	0	0	221						
	延べ人数	0	0	0	0	0	20	0	0	0	84	0	0	0	0	184	0	0	0	0	0	0	920	20	0	0	0	0	0	0	1228	899	321	8	0	1228	
南 小	実施件数	18	74	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	113	30	0	0	0	0	0	207	0	1	0	0	0	0	0	449							
	延べ人数	36	222	0	3	0	0	0	0	0	9	0	0	0	218	252	0	0	0	0	0	416	0	30	0	0	0	0	0	1186	48	284	0	0	332		
細 野 小	実施件数	0	0	0	2	0	0	0	0	0	12	5	2	1	21	9	0	2	0	0	2	2	0	204	2	0	2	0	0	0	266						
	延べ人数	0	0	0	14	0	0	0	0	0	110	10	7	4	21	77	0	38	0	0	12	207	0	3060	30	0	18	0	0	0	3608	229	374	0	0	603	
西小林小	実施件数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	14	10	0	0	0	0	0	12	0	217	0	0	0	0	0	0	265						
	延べ人数	13	0	0	0	0	0	0	0	0	79	0	0	0	69	40	0	0	0	0	0	60	0	709	0	0	0	0	0	0	970	105	153	0	0	258	
東 方 小	実施件数	0	0	0	6	2	0	0	0	0	4	0	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	207	0	0	2	0	0	0	231							
	延べ人数	0	0	0	10	2	0	0	0	0	8	0	0	0	4	59	0	0	0	0	0	0	828	0	0	53	0	0	0	964	64	97	0	24	185		
永久津小	実施件数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	2	0	1	0	13	110	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	131							
	延べ人数	0	0	0	3	0	0	0	0	0	10	4	0	2	0	75	321	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	419	32	119	0	12	163		
三 松 小	実施件数	4	0	0	0	0	1	0	0	0	11	4	0	12	0	11	0	0	0	0	2	0	12	204	2	1	3	0	0	0	267						
	延べ人数	14	0	0	0	0	2	0	0	0	36	4	0	25	0	173	0	0	0	0	140	0	12	2652	31	23	15	0	0	0	3127	288	160	0	95	543	
幸ヶ丘小	実施件数	0	0	0	0	0	2	0	0	0	17	0	0	2	1	13	44	0	0	0	2	3	45	205	3	2	5	2	0	3	0	349					
	延べ人数	0	0	0	0	0	3	0	0	0	17	0	0	2	2	13	95	0	0	0	2	44	50	205	75	46	25	2	0	3	0	584	49	153	22	21	245
須 木 小	実施件数	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	1	0	3	1	14	0	0	0	0	0	3	0	189	0	0	2	0	0	0	220						
	延べ人数	0	0	0	4	0	0	0	0	0	11	5	0	7	1	43	0	0	0	0	0	44	0	378	0	0	8	0	0	0	501	39	51	0	22	112	
野 尻 小	実施件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	20	3	0	0	46	13	0	0	0	0	2	2	0	207	0	0	0	6	0	0	0	300					
	延べ人数	0	0	0	0	0	3	0	0	0	112	51	0	0	81	39	0	0	0	0	19	103	0	2070	0	0	0	15	0	0	0	2493	313	304	0	0	617
栗 須 小	実施件数	0	0	0	0	0	1	1	0	2	7	4	0	2	32	7	0	0	0	0	5	2	0	50	2	1	14	0	0	0	130					0	
	延べ人数	0	0	0	0	0	1	1	0	4	100	43	0	8	78	20	0	0	0	0	50	119	0	425	19	8	241	0	0	0	1117	550	187	0	70	807	
紙 屋 小	実施件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	3	0	0	0	16	0	0	0	0	0	2	0	198	2	0	0	0	0	0	234						
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	42	0	0	0	96	0	0	0	0	0	70	0	198	18	0	0	0	0	0	469	93	101	0	27	221	

学校名		学校支援ボランティアの活動分野																										合計	ボランティア実人数								
		学 習 支 援 活 動																部活動		環境整備		登下校安全指導	学校行事			地域ボランティアとの 連絡調整	児童生徒の休み時間 における対応		給食時の対応	(キャリア教育含む) 進路指導の補助	区 分				合計		
		国語	算数・数学	理科	社会	外国語活動・外国語	体育・保健体育	音楽	図画工作・美術	家庭・技術家庭	総合的な学習の時間	生活	道徳	特別活動(学校行事以外)	その他	読み聞かせ	放課後学習支援	土日等学習支援	運動系	文化系	施設・備品等の補修・清掃等		花壇整備・植木剪定等	学校図書室の環境整備	体育系						文化系	その他	保護者	(保護者を除く) 地域住民		学生	その他
小 林 中	実施件数	0	182	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	5	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	1	195						
	延べ人数	0	182	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	85	0	0	0	0	218	1	0	0	0	1	0	0	0	7	520	100	83	16	12	211	
細 野 中	実施件数	0	0	0	1	0	1	0	0	8	5	0	0	0	12	19	0	0	23	0	0	1	0	204	2	0	1	0	0	0	277						
	延べ人数	0	0	0	5	0	2	0	0	8	51	0	0	0	51	72	0	0	45	0	0	10	0	3060	20	0	40	0	0	0	3364	70	324	0	6	400	
西小林中	実施件数	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	0	0	2	0	11	0	0	96	147	0	0	0	0	2	0	3	1	0	0	273						
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	21	47	0	0	6	0	34	0	0	96	184	0	0	0	0	43	0	5	1	0	0	437	109	62	30	236	437	
永久津中	実施件数	0	0	0	1	0	1	0	0	2	2	0	0	0	1	10	0	0	52	0	0	3	0	1	2	0	1	35	0	0	3	114					
	延べ人数	0	0	0	1	0	3	0	0	4	15	0	0	0	40	22	0	0	52	0	0	35	0	1	22	0	15	50	0	0	20	280	96	37	0	47	180
東 方 中	実施件数	0	0	0	0	0	0	0	0	3	11	0	0	3	2	5	0	0	0	0	1	2	0	206	0	1	0	0	0	0	2	236					
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	10	59	0	0	6	14	5	0	0	0	0	30	11	0	425	0	1	0	0	0	0	2	563	44	93	1	11	149
三 松 中	実施件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	34	0	0	4	0	6	21	0	337	126	5	3	0	154	2	5	3	0	0	0	0	701					
	延べ人数	0	0	0	0	0	2	0	0	0	116	0	0	66	0	42	21	0	345	127	48	111	0	1558	25	26	22	0	0	0	0	2509	301	303	55	100	759
須 木 中	実施件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	11	0	12	0	1	0	0	0	2	0	198	2	1	0	2	0	0	0	233					
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	46	0	12	0	5	0	0	0	30	0	24	30	16	0	2	0	0	0	171	60	38	0	73	171
野 尻 中	実施件数	0	0	0	3	0	3	0	0	1	8	0	0	6	0	5	0	0	72	5	1	2	0	4	1	0	9	18	0	0	2	140					
	延べ人数	0	0	0	6	0	8	0	0	5	45	0	0	26	0	30	0	0	295	5	2	215	0	114	23	0	44	19	0	0	5	842	373	257	0	0	630
紙 屋 中	実施件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	10	0	0	249	0	2	3	0	207	0	6	11	0	0	0	5	499					
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	3	18	0	0	0	0	10	0	0	249	0	9	41	0	207	0	30	66	0	0	0	21	654	105	549	0	0	654
全校校合計	実施件数	25	256	0	20	2	15	1	0	23	187	22	2	47	244	238	175	3	829	278	25	43	57	3059	25	19	56	64	0	3	13	5651					
	延べ人数	63	404	0	46	2	44	1	0	56	1003	159	7	198	579	1383	437	43	1082	316	530	1101	62	17250	360	181	552	89	0	3	55	25859	3967	4050	132	756	8905

編集後記

小・中学校の地域学校協働活動をまとめた「実践記録集」をお届けします。今年度も、各学校から多くの実践をお寄せいただきました。取材や実践記録を通して感じたことを、キーワードと共に紹介します。

◇ 活動の目的・内容

活動が定着するにつれ、「内容がマンネリ化している」という声も、先生方から聞いています。「地域全体で子どもたちの学びや成長を支える」「学校を核とした地域づくり」「地域と学校が相互にパートナーとして」など、地域学校協働活動の意義を再確認することが、特色ある学校や地域づくりに繋がると思います。

◇ 地域への理解・愛着

地域の行事への子どもたちの参加や参画、学校の地域貢献活動の事例が数多く報告されています。このような取組は、「地域に役立ちたい」と考える子どもたちを育てるためにも不可欠でしょう。

また、中学3年生の「小林市未来予想図」のように、地域を活性化するアイデアを通して子どもたちの地域への理解や愛着を高める取組も、この数年、充実してきました。

◇ 教職員の働き方・負担の軽減

学校支援のボランティアを積極的に活用している学校もあります。募集しているが集まらないという課題もありますが、「学校のために活動したい」という地域の方の話を聞いたこともあり、学校からの継続した情報発信が必要です。外部人材を積極的に活用することにより学校の負担を軽減する取組がさらに広がることを期待しています。

◇ 緩やかなネットワーク

まちづくり協議会と学校が連携した取組が増えてきました。教師が異動になっても持続可能な活動にするためにも、個人同士の繋がりから組織としての繋がりへの移行が求められます。

◇ キャリア教育の視点

地域学校協働活動を推進することで、子どもたちは変化する地域や社会の動向を理解し、さまざまな職業の大人と出会い、社会的・職業的自立に向けた学びを積み重ねていきます。生き生きと活動し、魅力のある大人と出会う機会を地域や学校で設けていきましょう。

◇ 学校運営協議会

地域コーディネーターに加えて、まちづくり協議会など、地域の活性化に関わる人材をメンバーにする動きも出てきました。学校からの報告と委員による承認・評価で終わるのではなく、地域と学校がパートナーとして、子育てや地域づくりについて熟議し、新たな動きを生み出すことが望まれます。

地域と学校の皆様には、訪問の度に丁寧に対応していただき、心よりお礼を申し上げます。今後も、各学校区で特色ある地域学校協働活動が数多く生まれることを願っています。

終わりに、ご指導をいただいた大山和彦教育長を始め、教育委員会の皆様、先生方、コーディネーターやボランティアの皆様、関係諸機関のご協力に感謝し、簡単ではありますが編集後記と致します。

令和7年 3月

KSSVC事務局

アドバイザー

甲斐 昭児



避難所設営訓練(防災に役立つロープの結び方)



こばやしスクールサポートボランティアセンター(KSSVC)

〒886-0004

小林市細野 38 番地 1 (社会教育課内)

TEL 0984-22-7912

FAX 0984-23-9700